

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	市議会会派合同行政視察
実施日	令和元年8月22日(木) ~ 23日(金)
参加議員	長越修一、依田俊良、山崎康一、中村眞一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

湯の丸高原スポーツ交流施設(特設プール)が今年度完成予定であり、(株)オーエンスが指定管理者に決定された。プール施設の適切な維持管理体制や利用者へのきめ細かなサービス提供などの運営状況等を確認するため類似施設である「千葉県国際総合水泳場」の行政視察を行い見識を深める。

自然災害が多発する中、市町村単独では対応不可能な広域的な甚大な被害に対し関係団体等が協力して応急復旧活動を行う基幹的広域防災拠点「東京臨海広域防災施設」の行政視察を行い見識を深める。

昨年度、首都圏の基幹市場として築地市場から豊洲市場に移転された。市内農産物(野菜・菓物等)の食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現、環境に配慮された先進的な市場「豊洲市場」の行政視察を行い見識を深める。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	交通費代	貸切バス代、電車賃、有料道路代等 (@20,012×4名)	80,048
○調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@184×4名)	736
研修費	日当	宿泊料、日当 ((@13,000+@2,200×2日) ×4名)	69,600
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
合計			150,384

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和元年8月22日(木)
視察場所及び 部局等	千葉県国際総合水泳場
視察事項	施設視察及び(株)オーエンスの水泳場の運営状況等について
報 告 内 容	(1) 視察先概要
	<p>新習志野駅の目の前にあり国際的な大会も数多く開催されている千葉県国際総合水泳場ですが、トップアスリートのほかに一般市民でも一年中気軽に利用ができます。</p> <p>メインプール、サブプール、初心者用プールと各種用意されているので、それぞれ利用者が安心して個々のレベルに合わせた練習が可能になっています。</p>
	(2) 視察事項について
	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県国際総合水泳場の施設運営や利用状況 ・指定管理者となっている(株)オーエンスの委託内容や管理・業務内容
(3) 所感・市政に活かせること	
<p>湯の丸高原スポーツ交流施設(特設プール)の指定管理者に予定されている(株)オーエンスの管理・業務内容について勉強させていただいた。当市の特設プールに活用出来そうなプログラムについて、積極的に提案いただくことが必要であると感じた。</p>	

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和元年8月22日(木)
視察場所及び部局等	東京臨海広域防災施設
視察事項	東京臨海広域防災施設における基幹的広域防災対策について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>東京臨海防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に現地における被災情報の取りまとめや、災害応急対策の調整を行う「緊急災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災の拠点施設となっています。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>基幹的広域防災施設の概要と防災対策について</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>広く国民が様々な体験・学習・訓練を通じて防災への関心を高め、実際に災害に対応できる知識や知恵、技術・自助・共助の心を習得する場であり、当市の市民の皆さんも機会を捉え視察していただきたい施設であると感じた。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和元年8月23日(金)
視察場所及び部局等	豊洲市場
視察事項	首都圏の基幹市場としての豊洲市場での市内農産物の流通について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>豊洲市場は、公設の卸売市場で東京都内に11ヵ所ある東京都卸売市場の一つである。競りの見学やイベント・物販・飲食店舗については、小売飲食店関係者以外の一般消費者や観光客も利用できる施設である。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>豊洲市場の施設見学と市内農産物の市場機能・流通について</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>日本初の全館閉鎖型卸売市場であり東京の新しい食の拠点となる総合卸売市場で閉鎖型施設により、エリアごとに適温管理ができ、商品や環境への配慮がなされており、都内最大級の太陽光発電など自然エネルギーを活用するとともに、外気冷房システムの導入やLED照明などの省力化や緑化も行っており、効率的な物流の実現、環境に配慮された先進的な市場で市内農産物(野菜・菓物等)の取り引きが行われていることに安心した。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	行政視察研修
実施日	平成31年4月23・24日・25日
参加議員	長越修一、依田俊良、山崎康一、中村眞一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興について ・エコノミック・ガーデンについて ・陶板名画美術館について ・防災、減災について

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に 調査研究費 研 修 費 広 報 費 広 聴 費 要請・陳情活動費 会 議 費	交通費代	電車賃、飛行機代、レンタカー代	187,821
	保険料	レンタカー保険	1,080
	高速代	阪神高速他	6,850
	駐車代	眉山パーキング他	2,900
	ガソリン代	徳島市・鳴門市管内	1,549
	謝 礼	手土産代	3,000
	入場料	人と防災未来センター他	19,360
	宿泊料	@13,000×2日×4名	104,000
	日 当	@2,200×3日×4名	26,400
	合 計		352,960

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

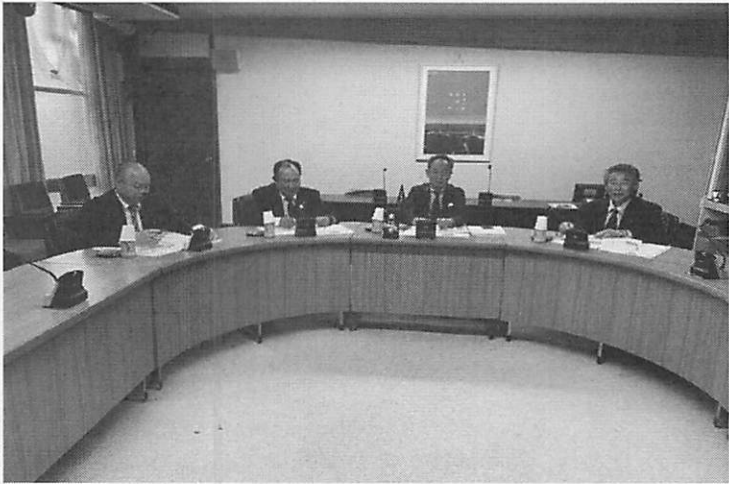
実施日時	平成31年 4月23日
視察場所及び 部局等	徳島市 阿波おどり会館
視察事項	観光振興について
報告 内容	<p>視察地である徳島市の人口は約25万人で、徳島県の政治・経済・文化の中心都市です。</p> <p>四国地方では、松山市、高松市、高知市に次ぐ規模の都市です。</p> <p>毎年8月12日から15日までのお盆期間に開催される阿波おどりは、日本の有名な伝統芸能の一つであり、阿波おどり期間中の4日間に約130万人の観光客が訪れています。</p> <p>徳島市の年間観光客数が約230万人ですので、半分の客数がこの4日間に集中しています。</p> <p>阿波おどり会館は、世界に誇る伝統芸能である阿波おどりを保存・伝承するための施設、通年性を持たせる施設、観光拠点としてのシンボル施設という事業目的ができています。</p> <p>運営に関しては、指定管理者制度を導入しています。</p> <p>1階に徳島県の物産館、2階に阿波おどりホール、3・4階にミュージアムとなっています。</p> <p>徳島市の観光課では、毎年この期間中は100万人を超す旅行者を見込んでいます。当市の海野宿でのイベント的な行事は、8月の海野宿にぎわい夏祭り、11月の海野宿ふれあい祭り、3月の海野宿ひな祭りとならび新たな企画も増えてきてはいますが、集客を増やすための物産や特産品等が少ない状況でもあるため、新たなブランドづくりに着手すべき時期に来ているのではないかと感じています。</p>



(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	平成31年4月24日
視察場所及び 部局等	鳴門市役所
視察事項	エコノミック・ガーデンについて
報告 内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>鳴門市は、人口6万人、四国の東北端に位置し、鳴門海峡を挟んで淡路島を望む四国の東玄関です。 全国的に知られている「鳴門の渦潮」をはじめ、四国遍路や大塚国際美術館、鳴門市ドイツ館、大谷焼など数多くの観光資源と海産物、農産物など数多い地域特産物を抱える観光都市です。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>「エコノミック・ガーデン」とは、地元の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出して、地元企業を成長させることにより地域経済を活性化させようとする施策で、企業誘致に頼ることなく、地元の企業によって地域活性化を目指そうというものです。 静岡県藤枝市では平成23年より、鳴門市では平成24年より実施されているほか、多くの地方都市で検討や研究が進められています。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>地域企業の実情把握と、地域内の経済的特性を再確認することからスタートし「企業訪問」、「企業間ネットワーク」、「中小企業支援ネットワーク」の取り組みを進めていくことが必要であると思います。</p> 

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)



(No. 3)

実施日時	平成31年 4月24日
視察場所及び 部局等	鳴門市 大塚国際美術館
視察事項	世界初の陶板名画美術館について
報告 内 容	<p>うず潮で有名な徳島県鳴門市、大鳴門橋の近くに「大塚国際美術館」があります。</p> <p>大塚グループが創立75周年記念事業として設立した日本最大級の常設展示スペース(29,412㎡)を有する「陶板名画美術館」です。</p> <p>厳選された古代壁画から、世界25カ国、190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、至宝の西洋名画1,000点余りを大塚オーミ陶業株式会社の特殊技術によってオリジナル作品と同じ大きさに複製しています。</p> <p>美術書や教科書と違い、原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができ、日本にいながらにして世界の美術館が体験できます。</p> <p>入場料は3,240円。徳島という首都圏から離れた地にありながら、入場者数は38万人。とても魅力ある美術館なのです。</p> <p>陶板名画は、約2,000年以上にわたって、そのままの色と姿で残ります。まずは、そのスケールの大きさに驚かされた。美術館を楽しむプログラムも多数企画されているほか、子どもを中心としたプログラムも用意されており、当市の梅野記念絵画館や、丸山晚霞記念館においても鑑賞するだけでなく美術館を運営するうえで様々な活用方法について情報収集を行い集客の向上に努めることが大切であると感じた。</p> <div data-bbox="765 1176 1282 1803" data-label="Image"> </div>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 4)

実施日時	平成31年 4月25日
視察場所及び 部局等	神戸市「人と防災未来センター」
視察事項	防災、減災について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>神戸市にある「人と防災未来センター」は、平成14年にオープンしました。阪神・淡路大震災の記憶を風化させることなく、そして災害の被害をできるだけ軽減する考え方を研究・普及すること。また、防災研究の拠点として、災害全般に関する有効な対策の発信地となることを目的としています。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>一般市民向けには、映像や写真、ジオラマ、その他膨大な資料により、阪神・淡路大震災と防災に関する情報を伝えています。</p> <p>「1. 17シアター」は阪神・淡路大震災発生時の激しい揺れと、地震破壊のすさまじさを最新の調査・研究に基づくコンピューターグラフィックス画像により迫力ある大型映像と音響でリアルに再現しています。</p> <p>「震災直後のまち」では、地震直後の破壊された街を実物大のジオラマで再現し、実際に歩いて体感できるようにしていました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	長越修一、依田俊良、山崎康一、中村眞一

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	6,650
	〃	6月定例会 会議録	3,869
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	4,722
研修費	〃	12月定例会 会議録	4,363
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			19,604

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと